

地域経済と中小企業政策

藤田 正美 議員
(未来塾/度会郡選出)

問

新しい組織形態のLLLPは、中小・零細企業の再生、コミュニティビジネスの創出にもつながります。

しかし、まだ社会的な認知度も低く、自治体や商工団体の理解も少なく、融資が受けにくいなどの問題があります。

三重県版のLLLPを中小企業の政策の一つにして、研究支援していく必要があると考えますが、いかがですか。

答

地域住民や事業者がパートナーシップを組んだ取り組みに対して、LLLP制度の利用の促進が必要と考えています。

関係機関と連携し、制度のメリットや特性の啓発を進めるとともに、「みえ地域コミュニティ応援ファンド」でも、事業の内容に応じた、制度の利用を促していきたいと考えています。



○新博物館 ほか

第11回全国農業担い手サミット

藤田 宜三 議員
(新政みえ/鈴鹿市選出)

問

今年11月、三重県で「全国農業担い手サミット」が開催されます。

この大会を契機に、三重県も県内全域の認定農業者の組織化を図るべきと考えます。

また、運営の中心である指導農業者、青年農業者、農村女性アドバイザーを行政の中で明確に位置づけ、施策提言も可能な組織にしてはどうでしょうか。

答

大会を契機に、今後の担い手育成につながることは重要と考え、担い手や認定農業者の組織化を調査・検討しています。

指導農業者等の方々は、地域のリーダーとして重要な役割を果たしており、知事との懇談会や市町、JAとの意見交換の場でいただいた意見・提案を政策に反映していきたいです。

○県民の健康を守るために、安全・安心な食の供給体制 ほか



県南地域の振興

中川 正美 議員
(自民・無所属議員団/伊勢市選出)

問

まつり博跡地の活用について、県と伊勢市の土地を交換し、広域防災拠点とサッカーコートの整備がされることとなりました。

また、産業用地には企業誘致を進めていく必要があります。

まつり博跡地の活用を契機に、地域の活性化を進め、伊勢志摩地域全体の地域振興へとつなげていくことが重要ですが、県としての考え方や、どのように支援していくのか伺います。

答

サッカーコートの整備は、誘客のために有効な構想であり、広域防災拠点の位置を変更しても支障がないため、交換に合意し、伊勢市の構想を支援します。

また、伊勢市が当地に産業支援センターを開設するとともに、様々な企業誘致施策を展開していく方針であることから、連携して企業誘致を行っていききたいと考えています。



県営サンアリーナ付近のまつり博跡地

○教育について ほか

新型インフルエンザ

後藤 健一 議員
(新政みえ/松阪市選出)

問

新型インフルエンザへの対策として、県は訓練・研修の実施や防疫用薬品・資材の備蓄を計画していますが、もし大流行となれば、多くの県民の命が奪われることになりかねません。

大流行時に県民がパニックに陥らないよう、県の危機管理能力が問われています。県民の安全・安心、そして何よりも命に関わるこの問題に対し、県としてどう考えているのでしょうか。



答

平成18年に策定した県の行動計画に基づき、インフルエンザ薬(タミフル)や防疫用資材の備蓄、関係機関との研修、実地訓練、情報交換や検査機能の強化に取り組んでいます。

また、県民が正しく理解し冷静に行動できるよう、流行時を想定した啓発を行うなど、発生危険に備えた取り組みを進めます。

○その他の質問事項 ほか

文中の傍線部分については、7ページに用語解説を掲載しております。